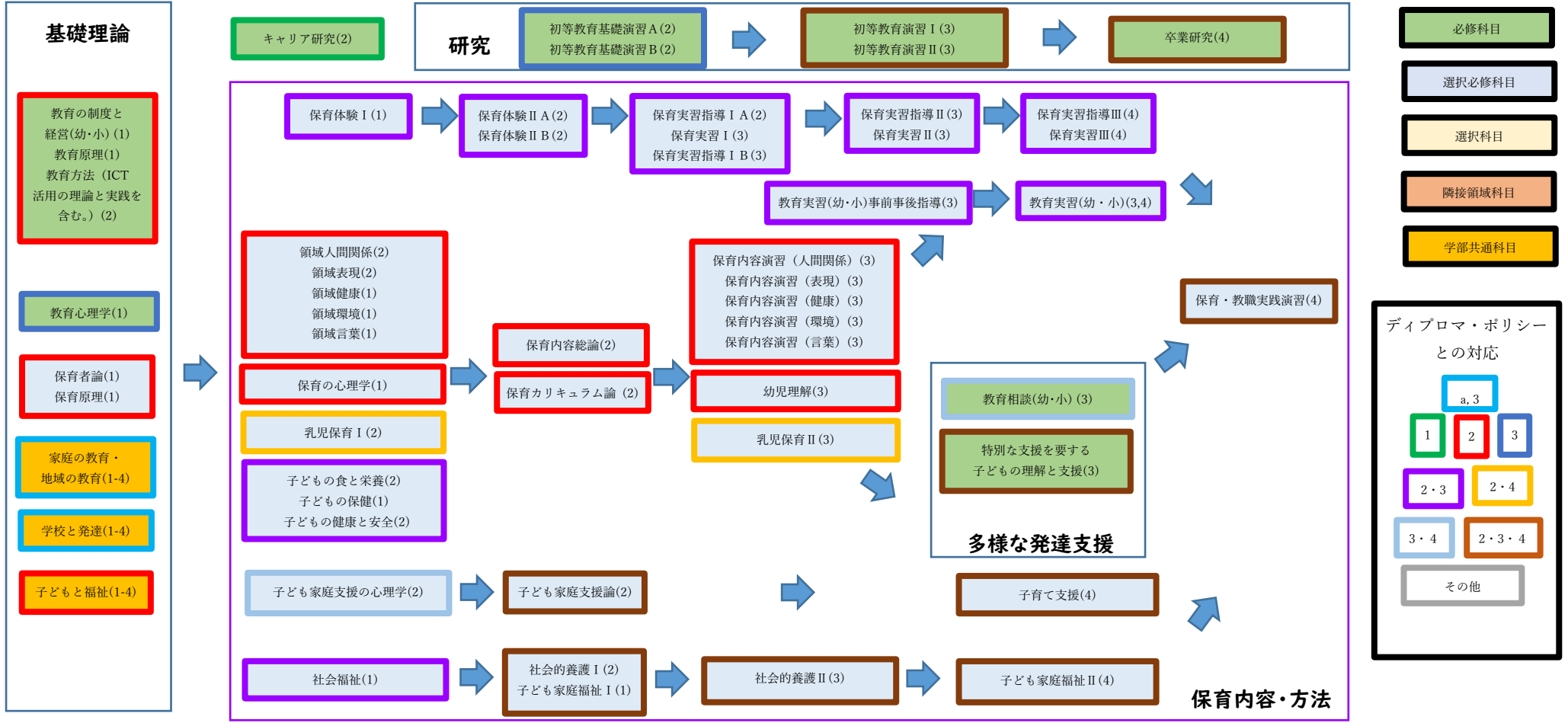


STEP1

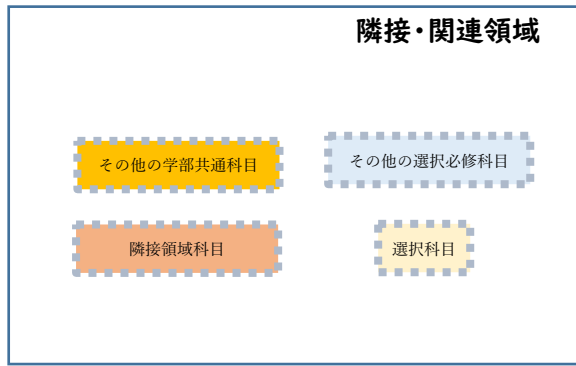
STEP2

STEP3

【幼児教育コース】



( ) 内は配当年次



初等教育学 卒業認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)

所定の年限在学し、本学科が定める所定の単位を修得することで、次に掲げるような力量を身につけた学生に学位を授与する。

建学の精神の根幹にあるキリスト教、特にカトリシズムの人間観と世界観を理解するとともに、その今日的な意義と課題について自己及び人間の在り方を省みつつ論じることができる。あわせて、他者との関わりを通して自己の生きる意義を探究する態度、他者のために自発的に行動し協働する意欲をもっている。時代を超えて普遍的に求められる深い教養と知性、大学生としての基礎的なスキルやリテラシーを身につけている。現代社会に求められる外国語学習を通じ、異文化への深い理解のために必要な能力を身につけている。

a 本学の教養教育を基礎としながら、人間総合学部の「学部共通科目」を設定している。その学修を通じて、人間存在について客観的・科学的な理解にもとづき共感的な人間観を身につけている。子どもを起点としつつ生涯にわたる発達過程と発達像について学ぶことで、人間のもつ多様性と可能性について理解している。それらの知識を実践するための、社会や文化、教育や保育活動の現状および可能性についての知識を獲得している。

- 1 時代を超えて普遍的に求められる深い教養と知性、大学生としての基礎的なスキルやリテラシーを身につけている。
- 2 保育者・教師としての実践の基礎となる知識や技能を身につけ、その基盤となる保育・教育に関する諸理論について理解できている。
- 3 大学で修得した理論や知識及び技能を、保育・教育の現場で活用することの意義と課題について理解できている。
- 4 保育・教育に関わる者として生涯学び続けるための探究の方法を身につけ、自ら取り組むべき課題について見通しを持っている。